

平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月28日		記入者	内線	5165
部 名	管理部	課 名	学務課	課長名	高橋 哲
事務事業名	校外活動助成費				
予算上の事務事業名	校外活動助成費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14123		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度
施 策 名	第2施策 小・中学校教育の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
音楽鑑賞会、演劇教室その他、校外活動を通じて小中学生の豊かな情操・感性を養うこと等を目的に実施するもの。			小中学校82校		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<小学校> 51,599千円 ・音楽鑑賞会委託 8,190千円(5,856人) ・スケート教室委託 21,814千円(17,741人) ・連合運動会委託 5,290千円(5,815人) ・公共施設使用料 1,010千円 ・市内めぐりバス運行業務 8,938千円(5,821人) ・大会等参加バス運行・器具運搬業務 1,289千円(バス14台・トラック7台) ・夢の丘・富士見・小山小水泳授業バス等運行業務 5,630千円(全学年)			<中学校> 9,942千円 ・演劇教室委託 6,544千円(5,168人) ・公共施設使用料 3,024千円 ・大会等参加器具運搬トラック 375千円(10台)		
6 関連・類似事業や他市の状況					
大和市(小19校:音楽鑑賞会・演劇鑑賞会他5,180千円/中9校:音楽鑑賞会・演劇鑑賞会他3,960千円)					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	58,229	62,400	61,541	68,311	68,311
一般財源	58,229	62,400	61,541	68,311	68,311
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	4,195	4,005	4,035	4,035	4,035
事業コスト合計(a)	62,424	66,405	65,576	72,346	72,346
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	校外活動助成費			対象名称(単位)	小中学校82校
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	62,424	66,405	65,576	72,346	72,346
対象数	81	82	82	82	82
単位あたり経費(円)	770,667	809,817	799,707	882,268	882,268
前年度比		1.05	0.99	1.10	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	小中学校		指標式と指標の説明	小中学校82校	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	81.0	82.0	82.0		
目標	81.0	82.0	82.0	82.0	82.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	小中学校		指標式と指標の説明	小中学校82校	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	81.0	82.0	82.0		
目標	81.0	82.0	82.0	82.0	82.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		教育課程に必要な経費と教育課程・活動の充実を補完する経費であり、必要な経費であると考えます。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
それぞれに歴史と実績のある事業であり、個々の事業の経費については、削減傾向の中で事業継続の工夫をして進めている。			予算削減に伴う各種事業の縮小で、幅の広い教育活動が困難となる。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			